

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	My Stepジュニア堀江教室		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性や発達状況に応じた個別支援計画を作成し、計画に基づいた支援が実施されていること。	児童の発達状況や保護者のニーズを踏まえ、個別支援計画を作成するとともに、職員間で情報共有を行いながら支援を実施している。	モニタリングや支援の振り返りを継続し、個々の児童の成長や課題に応じて支援内容の見直しを行う。
2	清潔で安全な生活空間が整備されており、安心して活動できる環境が確保されていること。	日常的な清掃や環境整備を行うとともに、児童が活動しやすい空間づくりを意識している。	児童の特性に応じた環境調整や設備の見直しを継続し、より安全で過ごしやすい環境づくりを進めていく。
3	保護者との情報共有や相談対応を通じて、家庭と連携した支援が行われていること。	日々の様子を保護者に伝えるとともに、相談があった際には迅速に対応し、共通理解を図るよう努めている。	面談や情報共有の機会を継続的に設け、保護者との連携をより一層深めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもとの交流機会が十分とは言えない点。	活動時間や安全面への配慮等により、地域交流の機会を設けることが難しい場合がある。	地域のイベントや施設等との連携を検討し、可能な範囲で交流機会を設けていく。
2	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の実施機会が十分とは言えない点。	保護者の参加可能な時間や実施方法の調整が必要であるため。	保護者向けの情報提供や相談機会の充実を図るとともに、家族支援に関する取組の検討を進める。
3	保護者同士の交流機会が十分に設けられていない点。	利用児童数や保護者の参加状況を踏まえ、交流機会の設定が難しい場合がある。	保護者交流の機会や情報共有の場の設定について検討し、可能な範囲で実施していく。